

令和元年度 第2回岩美町男女共同参画審議会 議事録

- 1 日 時 令和2年3月3日(火) 午前10時00分～午前11時55分
- 2 場 所 岩美町役場 2階 中会議室
- 3 出席者 出席委員10名 欠席委員1名
(委員) 山田 恭子(女性団体連絡協議会) 下根 鈴江(女性団体連絡協議会) 新田 範子(女性団体連絡協議会) 土井 啓子(女性団体連絡協議会) 岡田 美恵子(女性団体連絡協議会) 湊 孝明(社会福祉協議会) 田中 篤夫(自治会長会) 日下部 衆理(地区公民館長会) 松本 光義(公募) 田中 清一(公募)
(事務局) 次長 飯野 学(岩美町教育委員会事務局)
課長補佐 岡本 良恵(岩美町教育委員会事務局)
廣田 哲子(岩美町教育委員会事務局)

4 概 要

1 開 会

委員総数11名のうち、本日の出席委員は10名で過半数に達しており、審議会は成立

2 あいさつ

会長からあいさつ

3 議 事

(1) 岩美町男女共同参画計画意識調査アンケート(案)について

○事務局 これより進行は、会長にお願いいたします。

●会 長 では、次第に沿って進めます。はじめに(1)岩美町男女共同参画計画意識調査アンケート(案)について事務局から説明をお願いします。

(事務局から意識調査アンケート案について説明)

●会 長 ただ今事務局から説明のありましたことに関して、ご意見、質問等ありますか。

●委 員 確認ですが、第2次岩美町男女共同参画に関する基本計画期間は令和2年度までということ間違いはないか。

○事務局 おっしゃる通り、令和2年度中に次期計画を策定し令和3年度からの実施となります。

(次期計画策定までのスケジュール案について説明)

- 会 長 ただ今の説明について何かご質問はありませんか。

- 委 員 アンケート案の記入を実際に行ってみたが、この質問には20代は答えることができるけど、私みたいな年代が上のものには当てはまらない質問だなというのがいくつかあった。アンケートが返ってきたら70代の考え方や若い人の関心や考え方をしっかりと分析していただきたい。

- 委 員 質問のF1. あなたの性別をお答えくださいの選択肢に、性別について答えたくない、分からないなどの方は3を選択し、括弧内に記入するよう書いてあるが、その意図は何なのかと前回のアンケートもこういう選択肢だったか。

- 事 務 局 トランスジェンダーに配慮して性的少数者の方にも答えていただきやすくするため、今回のアンケートから設けているものです。

- 委 員 男女共同参画アンケートですから私は、性別は男と答える。LGBTの方で性別を答えたくない方もいるでしょうが、このアンケート自体が男・女の立場で答えるようになっているのでは。

- 事 務 局 アンケートは性的マイノリティの方であっても、男女平等などについてその方がどのように考えておられるのかを問う内容ですので、その方の性にこだわることなく答えていただければと考えています。

- 委 員 今までの集計では男女別からさらに年齢別で行っているが、性別無回答の方は男女の性別の中の無回答者とするのか、それとも別項目で集計するのか。この集計結果から男女に別項目を足して出すのがいいのかどうか。選択肢3番を選んだ場合、やはり性別が判断できないという事になれば男性、女性と分けて集計したほうがいいのではないか。ただ、すべての設問集計項目の男女にその他が加われば集計作業が大変になるので気にかかる場所である。

- 委 員 今は70歳でも雇用需要があり、仕事をされている方もいらっしゃると思う。また、70歳代と80歳代と10歳差があれば、それぞれ違った考え方があると思うので、80歳以上の年齢区分を一つ加えてもよいのではと思う。

- 事 務 局 F2の設問の年齢区分を11番『70歳から79歳』とし、12番『80歳以上』を加えるということでもいいでしょうか。

●委員　しかし、年齢区分を変えれば今まで集計してきたものと比較するときに困るのではないか。今までは70歳以上としていたものを今回から70代と80代に分けるわけだから、その辺りをどうとらえるのか。

●委員　資料4ページの数値目標を見てもわかるように、年代で比較する項目はないので支障はない。一つ一つの項目については、これまでの結果と比較するのに年代の区分が違くと難しいかもしれない。そこは30代から60代と70代以上を比較すれば見えないこともない。ただ、70代、80代の人口は増えてきていると思う。70歳以上とひとくくりにするよりも70代、80代と分けて、集計については70代、80代と入れ、できるなら70歳以上を参考値としていれるのもいいのではと思う。前回と比較するという意味で。

●委員　年齢を答える設問の5歳刻みについては、基本は10歳刻みで良いと思うが、集計に活用するならそのままでもよい。

○事務局　前回調査に合わせて5歳刻みで行いたい。

●委員　今回の調査で少し危惧するのは、1,500人を無作為に抽出すると年齢が偏るのではないかと思う。その辺りは大丈夫か。

○事務局　前回調査で、高齢層の回収率がいいが、若年層の回収率が低い傾向があったので、今回は、その辺りも考慮し1,500人を抽出したいと考えている。

●委員　今回アンケートの町民は何人が対象で、前回の回収率は何%だったか。

○事務局　町民アンケートの対象は、1,500人で、男女750人ずつ配布します。前回アンケートの回収率は、男女750人ずつ1,500人配布し、有効回収数が男性200人、女性269人、合計469人から回答がありました。回答率は、全体31.3%、内訳は、男性26.7%、女性35.9%でした。

●委員　平成27年のアンケート回収率は31.3%で、平成30年回収率が33.5%。また、男女の回収率が、平成27年が男性26.7%、女性35.9%で9ポイントの差があるが、平成30年では、男性30.4%、女性36%と男女共同参画がいい方向に浸透しつつあると、男性の意識が変わりつつあるのかなとも取れる結果ではないかと思う。今回の回収率がどうなるかだが、50%はほしいですね。岩美町が行う男女共同参画以外のアンケート回収率はどれくらいあるのか。

●委員　福祉関係のアンケートだと大体35.6%くらい。

○事務局 この後、もし気づかれたことがあれば印刷の事もありますので、1週間以内お知らせいただければと思います。

(2) 令和元年度岩美町男女共同参画実施報告について

(事務局から配布資料を基に説明)

●会長 ただ今事務局から説明のありましたことに関して、ご意見、質問等ありますか。

●委員 男女共同参画を浸透させるのが難しいと感じているのが地域における男女共同参画であり、しかしそこを重点的に啓発していくことが必要だと思う。浸透させるためには、計画の中の自治会、PTAなど地域社会での固定的性別役割分担意識の見直しは重要なことで、大きなことでなくても、できることからしていけないといけないと思う。計画実施内容が随時となっているが、何をやっているのか見えない。例えば、自治会、公民館、PTA等に総会など何か会合があればそこで男女共同参画推進活動をしてもらうよう声掛けをする。わたし自身も必要性を感じているので、「男の料理教室」開催時には山田会長を講師に迎え、男女共同参画についてお話しいただいたりしている。また、各地区にある人権教育推進会においても男女共同参画のことを取り上げてもらっている。そのように身近なところの活動がないとなかなか浸透しない。PTA、公民館などいろいろな団体があるがそこに積極的に声をかけていけないといけないと思う。

ケーブルテレビの文字放送に男女共同参画関係のことが出ていたが、文字放送を見ている人は少ないと思う。男女共同参画に限らず折角重要なお知らせしているのだから、例えば岩美町チャンネル本編映像の右側に表示してもらおうとかしたほうが、より町民の目につくと思う。

●委員 評議員会や地区での新年挨拶交換会などで行う懇親会では、食事の準備は女性に頼っている状況である。役員になっているほとんどの方が男性という現状ではあるが、男性も食べるだけでなく食事の準備も積極的にするなど男女共同参画推進をして意識を変えていけないといけないと思っている。自分自身もなかなか意識を変えられないところがあり、この会で改めて固定的性別役割分担意識の見直しの重要性を感じている。また、DVに関連して、テレビで児童虐待の放送を見ると児童虐待の背景には暴力(DV)がありこれらは密接に関係しているわけだが、地域においてもDVについて、または人権問題として話し合う場を設けて啓発してはと思う。

●委員 女性の登用状況についてだが、特に消防関係は女性の割合が低く登用率がなか

なか上がらない現状である。各種審議会において委員になる要件があて職だと男性が多くなる傾向が強いのでは。各担当課で女性登用率を上げるためにはどうすべきか今一度考えてもらわないといけない。

○事務局 岩美町行政改革推進においても女性登用については実施項目となっており、審議会委員の各担当課とも登用率を上げるためにどうしていくべきかを協議しているところです。どうしても代表者をとると男性の割合が高くなる傾向にあり、委員の構成メンバーの見直しなどが必要ではないかと思えます。審議会委員の改選期には引き続き女性委員の登用について各課に促して参りたいと思っています。

●会長 資料1の女性登用状況を見るとまだまだ男性委員が多い。できるところからでいいので女性の割合を増やしてほしい。

●委員 特に防災における女性の視点は大変必要なことだと思っている。防災に関わる審議会委員の中に一人でも女性が増えるよう、できることから取り組みを行っていくべきだと考える。

●委員 本腰を入れて女性登用率を上げ、計画目標値35%を達成しようと思うなら、女性委員の割合の低い審議会に関わる条例の改正を行うなどするよう、担当課に教育委員会事務局人権同和対策係が実行するまで働きかけていく必要があると思う。

○事務局 今後も、何度でも各担当課へ促して参ります。

●委員 防災などの関係機関の代表者となると男性がどうしても多いのが現状。それは社会の仕組みから変えていかないといけない問題で女性の割合を増やすのは厳しいことだろうと思う。例えば、公募枠を設けて女性を増やせれば割合を上げられるのでは。

●委員 男性委員の多い審議会でも女性登用率を上げていくことも必要だが、例えば、女性が活躍しやすい審議会でも更に女性委員を増やすというのもいいと思う。そうすれば、全体の登用率も上がるのではないかと思う。

(3) その他

(委員全員質問等なし)

4 閉 会

以上をもって議事全ての審議を終了し、午前11時55分閉会した。